

第3回「仙台塩釜港カーボンニュートラルポート協議会」の概要

<協議会の趣旨>

第2回協議会での議論を踏まえ、温室効果ガス排出量推計結果、温室効果ガス削減目標及び次世代エネルギー需要量の推計結果等を協議内容とする、第3回「仙台塩釜港カーボンニュートラルポート協議会」を以下のとおり開催しました。

<概要>

- ・日 時：令和5年5月31日（水）午後2時30分から午後3時30分まで
- ・場 所：仙台国際センター 展示棟会議室1・2
※対面とweb参加の併用開催
- ・出席者：学識経験者、経済団体、港湾関係者、国・関係市町（全44名）
- ・内 容：温室効果ガス排出量推計、温室効果ガス削減目標、次世代エネルギー需要推計、港湾脱炭素化推進計画の計画期間 等について

<議事概要>

- ・港湾法改正により、協議会名称を「仙台塩釜港港湾脱炭素化推進協議会」にすることに伴う「仙台塩釜港カーボンニュートラルポート協議会設置要綱」の変更について
- ・「温室効果ガス排出量の推計」を基準年（2013年度）569.6万トン、現状（2019年度）732.4万トンにすることについて
- ・「温室効果ガス削減目標」を2030年度時点50%削減（2013年度比）にすることについて
- ・化石燃料が全て水素に転換されると仮定した場合の「水素・アンモニア等の需要推計（水素需要ポテンシャルの試算）」を400.2万トン（うち港湾内101.5万トン、内陸部298.7万トン）にすることについて
- ・「港湾脱炭素化推進計画の計画期間」を2050年までにすることについて

上記5点について審議の結果、構成員から承認を得ました。

<意見等>

- ・温室効果ガス削減に向け、1社1設備ごとではなく、企業間の連携によるエネルギーの効率的な利用（例：廃棄する熱エネルギーを液化水素の気化に利用する）など、港湾全体として広い視点での検討が必要である。

（開催状況）

